



江東区深川消防団幹部研修会の朝霞駐屯地研修支援

東京地本城東地区隊（隊長 3等陸佐 河北 秀一郎）は6月9日、東京都江東区深川消防団幹部研修会の朝霞駐屯地研修を支援した。

当該事業は、参加者の自衛隊に対する関心と理解を促進し、防衛意識の高揚及び防衛基盤の拡充を図るため企画されたもので、深川消防署長をはじめ、消防署員や消防団員など64名が参加した。

参加者は、振武臺記念館において、旧陸軍予科士官学校にまつわる数々の展示品やゆかりのある旧軍関係の資料等を見学するとともに、陸上自衛隊広報センターにおいて、陸上自衛隊が担う幅広い役割である災害派遣や国外における国際平和協力活動などの写真や資料等を見学した。

参加者からは、「戦車部隊が所在する駐屯地に行かなくても三つの戦車（七四式、九〇式、一〇式）を見られるとは思わなかった。」「今度は家族を連れて、ゆっくり見に来ます。」「などの感想が聞かれ、有意義な研修となった。

城東地区隊では、引き続き各部隊等との連携を図りつつ、関係各所からのニーズに合わせた自衛隊のPRを積極的に実施していくとしている。



足立区立扇小避難所運営訓練での広報活動

東京地本足立地域事務所は、6月10日、足立区立扇小学校で2年に一度実施される避難所運営訓練において、第1普通科連隊第5中隊の支援を受け、広報活動を実施した。

当該訓練は、扇小学校避難所運営会議が主催して地域の住民等に対する避難所の開設・運営訓練を実施するほか、初期消火や応急手当等の防災訓練などを行っており、広報ブースの出展は3回目である。

広報ブースには、高機動車や偵察用バイクなどの装備品展示、子供達が制服等に替えて写真撮影ができる試着コーナー及び災害派遣活動紹介のパネル展示を実施し、訓練に参加した近隣の8コ自治体の住民に対して、自衛隊に対する関心と理解の促進を図った。

参加者からは、「自衛隊さんは頼もしい存在です。」「熊本の親戚が自衛隊の方々に大変世話になった。感謝しています。」「いざという時は、自衛隊がいるから安心して暮らせます。」「との言葉がかけられた。

東京地本足立地域事務所は、今後も地域に密着した募集・広報活動を積極的に実施するとともに、関係部隊等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する足立区民等の理解と関心を高め、自衛官募集活動の業務に繋げてゆくとしている。

